

中医協 診－1－2
21.7.29

診調組 コ－1
21.7.10

平成 20 年度

医療機関の部門別収支に関する調査報告

目次

I	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査の対象	1
3.	調査の種類と回答施設	1
4.	調査対象期間	3
II	調査内容	4
1.	診療科部門別収支の計算方法	4
2.	計算単位	4
3.	科目	6
4.	調査種類と内容	6
III	計算結果（概要）	7
1.	基礎数値	7
2.	留意事項	8
3.	収支計算結果	9
IV	計算結果（集計）	13
1.	レセプト診療科と診療科群の対応	13
2.	収支計算結果（レセプト診療科別）	14
3.	収支計算結果（診療科群別）	17
4.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、開設者別）	19
5.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、DPC対象・準備病院別）	25
6.	（再掲）透析部門・健診部門収支	31
V	計算結果（図解）	32
1.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（レセプト診療科）	32
2.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（診療科群）	38

3.	収支率の分布（レセプト診療科）	41
4.	収支率の分布（診療科群）	51
VI	等価係数.....	55
1.	給与費等価係数	55
2.	（参考）材料費等価係数.....	63

I 調査の概要

1. 目的

「医療機関の部門別収支に関する調査」（以下「部門別調査」という。）は、平成 15 年度から平成 19 年度までに実施された「医療機関の部門別収支に関する調査研究」において確立・検証された診療科部門別収支計算手法を用いて、病院における医業経営の実態等を診療科別に把握し、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として実施したものである。

2. 調査の対象

病床種類が主に一般病床で構成される DPC 対象病院・DPC 準備病院のうち、レセプトデータをレセプト電算処理フォーマットで提供できる病院または「DPC 導入の影響評価に係る調査」の E ファイルを提供できる病院を対象とした。

3. 調査の種類と回答施設

部門別調査は、「一般原価調査」と「特殊原価調査」の二種類の調査で構成される。「一般原価調査」とは、病院における診療科別の収支を算定するための調査であり、診療科別収支を算定する全ての病院について実施する。また「特殊原価調査」とは、病院の中央診療部門（手術・検査・画像診断）における費用を各診療科に割り振るための係数（等価係数）を作成するための調査である。それぞれの調査施設数は以下のとおりである。

(1) 調査施設数

① 一般原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 (②/①)
190病院	127病院	66.8%

② 特殊原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 (②/①)
15病院	14病院	93%

(2) 開設者・病床規模等

集計対象施設の開設者（国立公立・医療法人・その他[※]）別、DPC対象・準備別、病床規模別の施設数は以下のとおりである。

※ 「その他」とは、公的（日赤、済生会、厚生連など）、社会保険関連法人（全国社会保険協会連合会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会など）、その他（公益法人、社会福祉法人、医療生協など）である。

① 一般原価調査

開設者	DPC対象・準備	病床規模			
		20～199床	200～499床	500床以上	計
国立公立	DPC対象	0 (0%)	12 (9%)	9 (7%)	21 (17%)
	DPC準備	1 (1%)	8 (6%)	4 (3%)	13 (10%)
	合計	1 (1%)	20 (16%)	13 (10%)	34 (27%)
医療法人	DPC対象	15 (12%)	22 (17%)	1 (1%)	38 (30%)
	DPC準備	9 (7%)	3 (2%)	1 (1%)	13 (10%)
	合計	24 (19%)	25 (20%)	2 (2%)	51 (40%)
その他	DPC対象	4 (3%)	21 (17%)	7 (6%)	32 (25%)
	DPC準備	3 (2%)	5 (4%)	2 (2%)	10 (8%)
	合計	7 (6%)	26 (20%)	9 (7%)	42 (33%)
総計	DPC対象	19 (15%)	55 (43%)	17 (13%)	91 (72%)
	DPC準備	13 (10%)	16 (13%)	7 (6%)	36 (28%)
	合計	32 (25%)	71 (56%)	24 (19%)	127 (100%)

② 特殊原価調査

開設者	DPC対象・準備	病床規模			
		20～199床	200～499床	500床以上	計
国立公立	DPC対象	0 (0%)	2 (14%)	3 (21%)	5 (36%)
	DPC準備	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	合計	0 (0%)	2 (14%)	3 (21%)	5 (36%)
医療法人	DPC対象	1 (7%)	1 (7%)	0 (0%)	2 (14%)
	DPC準備	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	1 (7%)
	合計	1 (7%)	2 (14%)	0 (0%)	3 (21%)
その他	DPC対象	0 (0%)	2 (14%)	0 (0%)	2 (14%)
	DPC準備	2 (14%)	0 (0%)	2 (14%)	4 (29%)
	合計	2 (14%)	2 (14%)	2 (14%)	6 (43%)
総計	DPC対象	1 (7%)	5 (36%)	3 (21%)	9 (64%)
	DPC準備	2 (14%)	1 (7%)	2 (14%)	5 (36%)
	合計	3 (21%)	6 (43%)	5 (36%)	14 (100%)

4. 調査対象期間

(1) 一般原価調査

平成20年10月

(2) 特殊原価調査

平成20年4月～平成20年10月のうち10月分(必須)と、遡ってデータ提出可能な期間

II 調査内容

1. 診療科部門別収支の計算方法

部門別調査は、病院全体の収益・費用の金額を、最終的に入院部門、外来部門の各診療科単位に割り振り、診療科別収支（入院・外来ごとの診療科別収支）を把握するものである。

病院の診療科や部署（病棟、外来診療室、手術室、医事課等）を「入院部門」「外来部門」「中央診療部門」「補助・管理部門」の4部門に分け、そのうち「補助・管理部門」「中央診療部門」の収益・費用を段階的に「入院部門」「外来部門」の各診療科に配分する「階梯式配賦」という手法を用いて、診療科別収支を算定した。

2. 計算単位

部門別調査では、全病院共通のレセプト電算処理システム用診療科（以下「レセプト診療科」という）単位で収支を計算した。また、レセプト診療科での集計と同時に、類似するレセプト診療科をまとめた再集計用の「診療科群」を設け、「診療科群」単位でも集計を行った。

(1) レセプト診療科

レセプト診療科は以下のとおりである。

レセプト診療科											
01	内科	07	胃腸科	13	美容外科	19	皮膚科	25	婦人科	31	麻酔科
02	精神科	08	循環器科	14	脳神経外科	20	泌尿器科	26	眼科	32	(欠)
03	神経科	09	小児科	15	呼吸器外科	21	性病科	27	耳鼻いんこう科	33	心療内科
04	神経内科	10	外科	16	心臓血管外科	22	こう門科	28	気管食道科	34	アレルギー科
05	呼吸器科	11	整形外科	17	小児外科	23	産婦人科	29	(欠)	35	リウマチ科
06	消化器科	12	形成外科	18	皮膚泌尿器科	24	産科	30	放射線科	36	リハビリテーション科

(2) 診療科群

再集計用の「診療科群」として以下の 11 の診療科群を設定した。各診療科群にどのレセプト診療科を含めるかについては、調査票で以下の設定を例示し、それに基づき各病院が自院のレセプト診療科の診療内容等により判断して再設定する方法をとった。

診療科群		診療科群に含まれると想定されるレセプト診療科(初期設定)
1	内科群	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・胃腸科・循環器科・心療内科・アレルギー科・リウマチ科
2	小児科群	小児科
3	精神科群	精神科・神経科
4	外科群	外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・泌尿器科・こう門科
5	整形外科群	整形外科・リハビリテーション科
6	産婦人科群	産婦人科・産科・婦人科
7	眼科群	眼科
8	耳鼻いんこう科群	耳鼻いんこう科・気管食道科
9	皮膚科群	皮膚科・性病科
10	麻酔科群	麻酔科
11	放射線科群	放射線科

3. 科目

病院会計準則に則った損益計算書様式で1ヵ月分の損益の記載を求め、科目毎に定めた基準により収益・費用を各診療科に計上した。各科目に含まれる内容は以下のとおりである。

区分・科目	集計内容
医業収益	入院診療収益、室料差額収益、外来診療収益、保健予防活動収益、受託検査・施設利用収益、その他の医業収益、保険等査定減
医業費用	
材料費	医薬品費、診療材料費、医療消耗器具備品費、給食用材料費
給与費	給料、賞与、賞与引当金繰入額、退職給付費用、法定福利費
委託費	検査委託費、給食委託費、寝具委託費、医事委託費、清掃委託費、保守委託費、その他の委託費
設備関係費	減価償却費、器機賃借料、地代家賃、修繕費、固定資産税等、器機保守料、器機設備保険料、車両関係費
その他の医業費用	研究研修費、経費、控除対象外消費税等負担額、本部費配賦額
医業外収益	受取利息及び配当金、有価証券売却益、運営費補助金収益、施設設備補助金収益、患者外給食収益、その他の医業外収益
医業外費用	支払利息、有価証券売却損、患者外給食用材料費、診療費減免額、医業外貸倒損失、貸倒引当金医業外繰入額、その他の医業外費用

4. 調査種類と内容

調査種類	調査内容
一般原価調査	レセ電算ファイル・Eファイル・Dファイル（DファイルはDPC対象病院のみ）等の収集、病院毎の部門設定、病院全体の収益・費用を各診療科に割り振るための基礎数値（病院全体の収支、患者数、職員・勤務状況等）調査
特殊原価調査	手術・検査・画像診断部門の各診療行為別の資源投入量（給与費等）調査

III 計算結果（概要）

1. 基礎数値

(1) 一般原価調査対象施設数等

① 病床規模別

	20～199床	200～499床	500床以上	全病院
病院数	32	71	24	127
平均病床数	136	334	638	342
平均延べ入院患者数	2,803	7,854	15,524	8,031
平均延べ外来患者数	6,234	12,454	24,973	13,252
平均常勤換算医師数	31	59	173	73
平均レセプト診療科数	7	12	16	12

② 開設者別

	国立公立	医療法人	その他	全病院
病院数	34	51	42	127
平均病床数	453	241	373	342
平均延べ入院患者数	11,029	5,576	8,585	8,031
平均延べ外来患者数	17,730	8,833	14,995	13,252
平均常勤換算医師数	121	47	67	73
平均レセプト診療科数	14	9	12	12